

コロナで変わったこと

① できなくなったこと

資源回収(大規模)

大規模なたのしみな祭→各クラスごとに教室での工作

(校内全体を使いブース設置、工作やレクリエーションなど→教室での工作に縮小変更)

委員会などの会議

② できなくなってわかったこと

資源回収→資源倉庫に集まった量による収益でできる規模の活動をする

たのしみな祭→規模を縮小しても子どもたちに喜んでもらえる行事はできる

委員会などの会議→いままではやるものだと思ってやっていたが、活動がなくなり会議の必要がなくなった

③ ②を踏まえて変えたところ

クラス役員制度をすべて廃止。役員は本部のみ

地区委員は通学班登下校が全員必須なことから、PTAから切り離し学校管轄の組織とした。(PTA加入の有無に限らず全員選出対象となる)

PTA主催のものはすべて都度ボランティアを募集。集まらないものはやらない。もしくはやれる規模で行う。

たのしみな祭(北栄小伝統行事)

役員としての参加はなし。メールでのアンケートで参加者を募る。

北陵中学校生徒にボランティア依頼。

PTAブースの他に地域の8団体がブース協力

(射的、ヨーヨー、スーパーボールすくい、工作、生き物観察、軽スポーツ、トランプなど)

今年度は保護者40名、中学生75名、高校生含む地域の方30名ほどが参加

役員として仕方なく参加する形から、やりたい人が楽しんでやれる形に変更した。

また、準備が簡単なものに変えたので、保護者が参加しやすい。

自主的にブース運営したい人も同時に募る。

人数が集まらなければ、規模を縮小し、集まった人数で行うか、保護者に限らず地域で手伝ってくれる人を集める。

子ども主体の祭りとの見直しで、祭名を子ども達から募集。投票により「ハッピーフェスティバル」に変更。

④ PTAの在り方について

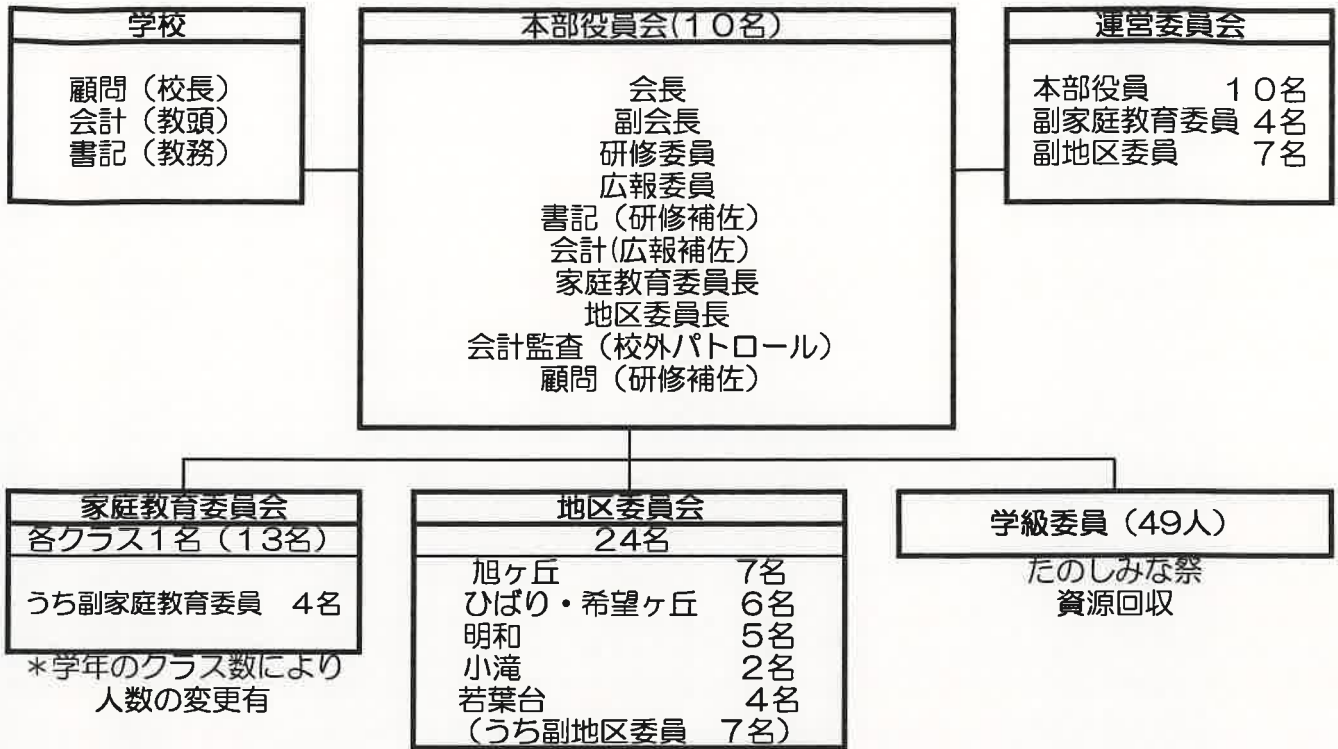
今までは、保護者として子どもたちを学校に預ける以上は必ず何らかの形で関わりを持つことが必要だという考えから、役員制度を継続してきた。しかし、共働き、ひとり親家庭などの環境の変化により、保護者に無理に負担を強いるのは違うのではないかという意見もできるようになった。

コロナ禍により、「やらなければならない活動」が「やらなくても特に問題はない活動」であることに気づいた。

逆に、子どもの学校生活に関わりたいという保護者の願いもあるため、「やりたい人が楽しんでやるPTA」として、自主ボランティア活動の提案、友達同士での行事参加を可能にした。今年度、どのような形になるかはわからないけれど、「今までこうだったから」ではなく、その時その時に合った形で活動を行うことがこれからのPTAの在り方なのかもしれない。

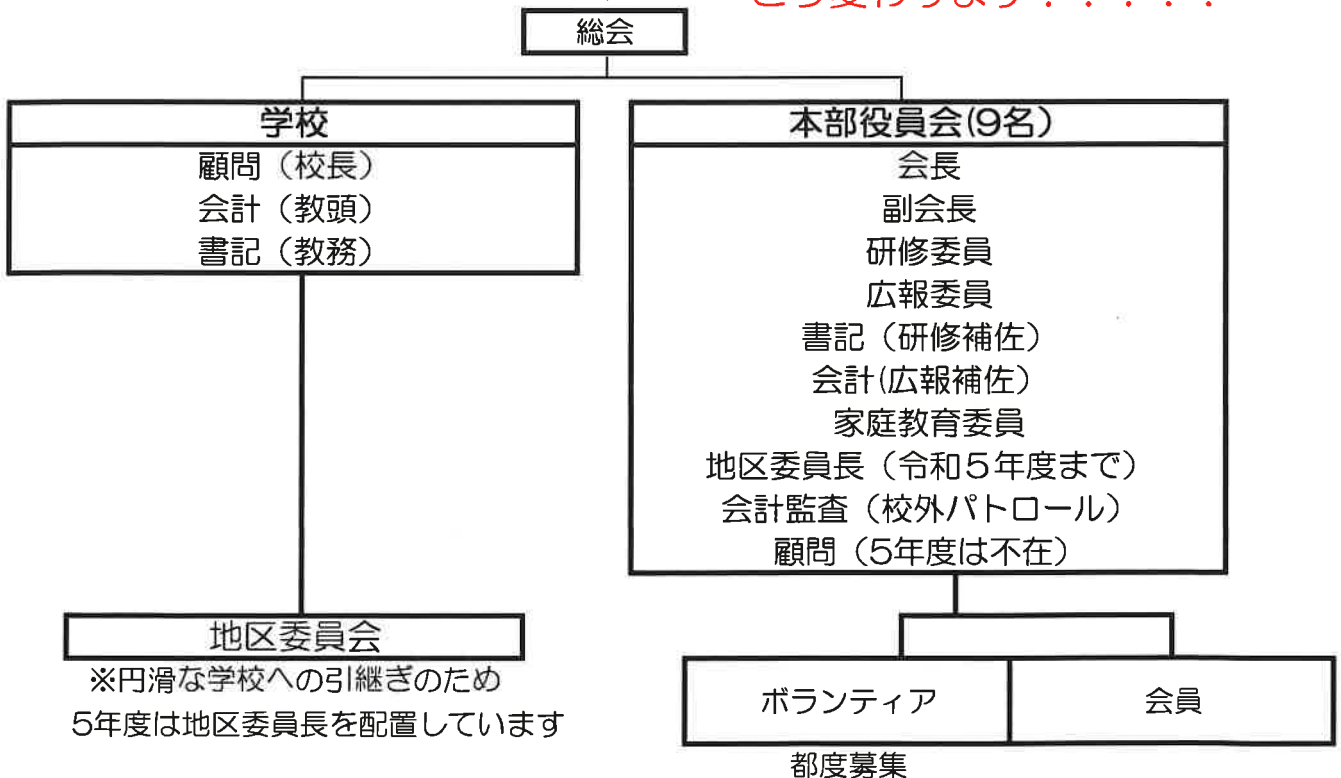
令和5年度PTA組織図

令和4年度北栄小学校PTA 組織図



年度初めにたのしみな祭への参加協力ボランティアを募集
年度初めにきつずな作成ボランティアを募集

こう変わります!!!!!!



ボランティア活動について

① たのしみな祭

いままで→家庭教育委員・クラス役員・地区委員・本部役員・ボランティアの
基本全員参加で実施

今年度 →募集したボランティアの人数でできる規模のたのしみな祭にします。

今までは決められた学年での活動でしたが、やる内容や日にちによって
好きな学年の活動に参加できます。

② すきな活動を自分で企画し提案してください！

友達同士でならやってみよ
うかしら

バザーとか企画してみ
たいわ

お母さんだけの参加ばかりか
かと思っていたけど父親
でもいいんだ！



他の学校でやっている「逃走中」とか
お父さんあつめてやってみたいな

親子で草取りとかペンキ塗りとか、
そういうのなら子どもと一緒に
やれるかも



継続するのは大変だけど
単発での活動ならやってみ
たいな

今までは仕事の都合が合わな
かったけど、自分で立ち上げてい
いなら自分で時間決められて助
かるわ！